

2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	都市環境デザイン小委員会	主 査 名：浅輪貴史 就任年月：2020 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (都市環境・都市設備運営委員会)	委員長名：秋元 孝之 主 査 名：吉田 聡
設 置 期 間	2020 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>顕在化する温暖化影響と気候変動適応策に向けた研究深化と社会実装は喫緊の課題である。建築分野に対しても、低炭素社会づくり、温暖化適応社会の構築をはじめとして多くの社会的貢献が求められている。</p> <p>本小委員会は、都市環境工学分野から貢献方法を議論し、これまでの研究の蓄積を再整理するとともに、新たに取り組むべき課題、具体的な都市デザインに展開可能な指針のあり方等についての議論を促すことを目的とする。</p> <p>初年度：都市設備分野を中心に最新情報の共有、研究の蓄積の再整理、及び実例のスタディを通じて、都市環境・都市設備分野からの貢献方法を議論する。 「第 9 回都市環境デザインフォーラム」を企画し、実施する。</p> <p>2 年度：都市環境分野を中心に研究の蓄積を都市環境デザインへつなげる方法について議論する。また、新たに取り組むべき課題、具体的な都市デザインに展開可能な指針のあり方等について議論する 「第 10 回都市環境デザインフォーラム」を企画し、実施する。</p> <p>3 年度：これまでの 10 回を振り返り、環境工学分野からの貢献、情報発信のあり方などを再検討し、今後の展開について議論を行う。 「第 11 回都市環境デザインフォーラム」を企画し、実施する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し	
	主査：浅輪貴史 (東京工業大学) 幹事：熊倉永子 (国土技術総合政策研究所) 委員：川久保俊 (法政大学)、三坂育正 (日本工業大学)、竹林英樹 (神戸大学)、吉田聡 (横浜国立大学)、田中貴宏 (広島大学)、赤川宏之 (大林組)、原英嗣 (国土館大学)、小柳秀光 (北海学園大学)、増田幸宏 (芝浦工業大学)、平山由佳理 (株式会社ミサワホーム総合研究所)、熊倉永子 (国土技術総合政策研究所)、佐々木澄 (清水建設)、宮崎ひろ志 (関西大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2021 年度予算	95,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 第 9 回都市環境デザインフォーラム「ニューノーマルにおける都市環境・都市設備の展望-DX の推進に注目して-」 2022 年 2 月 28 日 (月) 開催 (資料名) 同上 <div style="float: right;">参加者数 81 名</div>
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. 小委員会を2回開催し(いずれもオンライン開催)、それぞれ、都市環境デザインフォーラムの企画内容についての提案と、開催の報告を行った。また、次年度の都市環境デザインフォーラムの企画策定に向けた議論を開始した。</p> <p>2. 都市環境デザインフォーラムについて、当初計画通りに企画・開催を行うことができた。</p> <p>3. 都市環境デザインフォーラムの開催を通じて、都市環境分野を中心に研究の蓄積を都市環境デザインへつなげる方法について議論を行った。</p>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<p>1. 小委員会をオンライン開催としているため、首都圏以外の委員には参加がしやすくなった一方、特にデザインフォーラムの企画に際して、各委員の持っている情報や最新の知見を交換することが、やや難しいと感じた。</p>